



# 奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

## 新年を迎えて

会長 阿部 和生

### 明けまして おめでとうございます。

皆様方には、ご健康で佳き新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

「奈良・人と自然の会」も会員数107名となり、多くのすばらしい人々の集団となっています。平成21年も引き続き会員諸氏の力強い活動を通して、会員相互の親睦を深め、併せて地域社会に貢献してゆきたいと思います。

昨年の流行語の一つに「ゲリラ豪雨」が挙げられていました。神戸 都賀川の惨事が思い起こされ、熱中症の多発、竜巻の発生等と異常気象を感じさせることが多くありました。

前半は「洞爺湖サミット」があり 社会全体に地球環境や持続的社會への関心が高まっていたと思います。後半福田さんから麻生首相に代わり、アメリカがばらまいた過剰消費の始末が全世界を覆うようになってしまい、世の中の関心は、不景気・不安へと移ってしまいました。そ



のような中で平成20年の 今年の一文字は【変】が選ばれました。その文字には、新年への期待、良き変革を望む心が込められていたように思います。

こうした世相の中であればこそ、「会」の発足時からの「よりよい社会を次代に引き継ぐ」という精神は少しも色あせてなく むしろより必要とされているのではないのでしょうか。よりよい環境・多様な生態系への前進、豊かな自然の維持管理、そういったことは、歴史的・文化的な遺産を多く抱える古都奈良とも調和し、さらに人々に安心と安らぎを与える活動です。変革を込めた活動だと思います。

これまで積み上げてきた、様々な実績は、私たちの資質を高めるだけでなく大きな社会的貢献へとつながっていることを確信しました 評価もされています。

「私達は、大和の自然を愛します」を胸に 明るく！元気で！楽しく！を掲げて、 新年も、学びとともに着実な実践、そしてその輪を広めてゆきたいと思います。

多くの方々のご指導、ご鞭撻を より一層お願い致します。

## ならやまプロジェクト・レポート 20年 12月

### 11月18日(火) 晴 ならやま山の日 参加者14名 里山の観察路整備

今日は全員が山に入る。先ず、D3地区の急斜面に除伐材を活用したステップ造り。次いで106高地には野鳥観察のための空間地を切り開く。ここで毎月第2月曜日に定点観察を行なうことになる。さらにE3地区のコナラ林に侵入した孟宗竹の除伐を実施する。

今日は、里山からの素晴らしい贈り物があつた。『ムラサキシメジ』が十数本。某氏がためらう仲間を尻目に、独りその味をタップリ楽しんだとか。 午後3時30分 解散

### 11月22日(土) 快晴 参加者 31名 (内教育実習生4人、菜の花プロ11名)

本日、安川和男さんが新入会員として参加。心から歓迎します。

朝一番のクリーンアップ作戦で、放棄されたゴミを全員で回収。40分間の作業で集まったゴミはトラック2杯分、古タイヤ13本を含むありとあらゆる種類の放棄物が集められる。美しいならやまの隠れた恥部です。必ずきれいにしなきゃ、してみせます。

前回に続き、会員と実習生でコナラ林に侵入した孟宗竹の除伐。作業後は、里山の秋を満喫しながら植生観察と散策を楽しみました。今年3月に植菌した榎木から気の早い椎茸が2本出ていたのはご愛嬌でした。

菜の花プロジェクトのメンバー11名は、草取り。雑草に埋もれた畑だったが、人海戦術で苗の救出に成功、見事に整然とした菜の花畑がよみがえりました。ご苦労様でした。

午後2時30分解散

### 11月30日(日) 晴 参加者16名 B地区刈笹の集積作業

中畑さん鳥井さんの地道な努力のお蔭で笹藪の刈払いは計画の70%に達し、今日は全員で刈った笹を集める。3mを越す笹は蔓が絡んで集めるのも大仕事である。午前中かかって、いくつもの刈笹の山が出来上がり、県による撤去を待つ。前回収集した放棄ゴミは、25日、水本さんのご尽力で奈良市の手で回収された。 多謝! 午後2時30分解散

### 12月4日(木) 晴 ならやま山の日 参加者20名 空閑地の枯倒木整理

本日、鈴木末一さんが新入会員として参加される。元ならやまの地主さんで、県立高校の元校長先生。山の状況や歴史など教わるが多そうです。 おおいに歓迎します。

今日は里山D3地区の空閑地の整備をおこなう。枯木は赤松が圧倒的に多い。50年前はマツタケも出たというが、手入れがされないままに、林床の富栄養化のため先ず赤松が犠牲になったものだ。枯木の排出、ソヨゴなどの常緑樹の間伐、笹の下刈りと林床の手入れをした結果、明るい空閑地が出現した。コナラの世代更新も観察できて、林間教室にぴったりの場所だ。 FM局の取材があり、阿部会長、古川が対応する。 午後2時30分 解散

### 12月6日(土) 晴 リース作り 参加者26名 (内家族・ビジター8人)

寒波到来、木枯らしが吹いているが、ベースキャンプの陽だまりは小春日和。ジョウビタキが直ぐ近くで愛嬌を振りまいている。

今日は会員と家族対象のリース作りを楽しむ。西谷さん、小嶺さんの手配で材料が用意されて、各人思い思いのデザインでリース作りに熱中する。出来上がった作品を見せて、店で買えば5000円はする、いや7000円だとかと嬉しそうな顔。大人も子供もタップリ楽しんだ一日となりました。手すきの男性は、道路の側溝や山の落葉を集めてきて、大きな堆肥塚を作りました。有機栽培の土作りのベースです。 2時30分 解散

( 古川 祐司 記)

## ならやま里山林自然観察レポート

### \*ならやま里山林花便り\*

林 令子

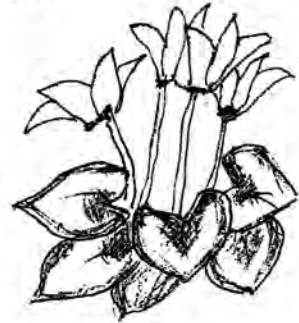
初冬に入り、野の花が少なくなる中で、アメリカヌホウズキが花と実を沢山付け、本来は春に咲くべき花のハコベ、ナズナ、ホトケノザ、オオイヌノフグリ、セイヨウタンポポが花を咲かせています。

花畑のハボタンもお正月に向けぐんぐん大きくなっています。ジンチョウゲの蕾が赤味を増し、膨らんできました。

### \*ならやまの鳥たちの12月\*

小田 久美子

12/8(月) 川瀬(奈良支部会長)以下14名参加で、鳥は14種類と私たちの勝ち(?)でした。可愛い姿を楽しませてくれたジョウビタキは、記録を取る時間には姿を消して残念でした。次回は1/12(月)、冬の小鳥たちが見られることを期待したいと思います。



### 社会貢献事業報告

#### 黒髪山自然塾協賛「リース作り」11月23日(日) 報告者 小嶺

奈良市からの依頼の黒髪山自然塾に協賛し、奈良・人と自然の会のスタッフ6名が参加した。

小学生の児童達64名を対象に午前中は自然塾が担当、団子汁とバナナの蒸し焼き作り、午後は我々の会がリース作りを担当した。

予算がない為、リースの土台作りから、装飾の為の自然の色付きの果実、種、ドライフラワー等を多くの奈良・人と自然の会の会員の協力を得て短日時に収集出来ました事を感謝します。

特に西谷さんには、一年がかりで集められた貴重なドライフラワー、麦の穂その他多数の提供と指導をして頂きました。

子供達はスタッフのアドバイスを受けながら真剣に制作し最後は各自の作品を発表し笑顔で持ち帰りました。

参加スタッフ 西谷 樋口、古川、岩田、勝田、勝田緑、小嶺



## 自然のなかの匠たち

川井 秀夫

生来私は手先が不器用で、細工が苦手である。当会には、いつの頃からか自然工作の担い手が集まり、各種イベントの催場に出掛けては、ファミリーの喝采を浴びる様になり、特に子供たちとの自然を共有できる媒体として活躍して頂いている。

初代の棟梁は樋口 善雄氏（前 幹事）。会員の中では最長老で、少し足が不自由のご様子だが、私の俳句会のメンバーでもあり、里山林の畑作にも元気な姿を見せて頂いている。

先年、シニアの普及活動を兼ね「セミ」の実態調査で大阪府の小学校を巡回した事があり、「蟬丸くん」（竹を輪切りにし糸を繋いで回す）を樋口さんに伝授して貰い、教壇で実演するとヤンヤの拍手。講話は上の空、俺も俺もとひっぱりだこ、以外な展開に辟易したものである。「おっちゃん長生きして、また来てネ」別れの挨拶に複雑な思いをした事が思い出される。

匠の中の名手、斎藤 和子さん。例会で「巨勢の道」を歩いた折、途中の社で小憩しミニ工作教室。近くに有った棕櫚の葉っぱで、みるみるうちに芸術的な「バッタ」の作品が誕生。鮮やかな手さばきに恐れ入ったものである。

二代目 棟梁。小嶺 敏勝 氏。マルチ的な創造力のある方。最近、私も現場に顔を出す事が少ないが「黒髪山CF」の定番行事を始め、官民の行事に積極的に参画して当会の存在感をPRしていただいている。

中核メンバーの本郷洋一朗 氏。黙々とシャープな手さばき、リースに堪能な西谷 範子さん、シニアインプリのリーダー 倉田 晃 氏。シニアアシストの岩田利秋氏。女性陣の助っ人、吉村さつき さん、大寺 道代 さん、守口 京子さん、林 令子さんら支えの方々が印象に残る。

名匠。川勝 孝雄 氏が忘れられない。工作技術もさることながら、大工仕事にどれだけ助けていただいた事か。活動現場のハコ物、椅子・テーブル、基礎工事など、この人の細工に、敬意と共に感謝・感謝である。

この手工には、自然の匂いがあり、素朴で簡易な遊びに、子供たちが自然に親しみを覚える接点として、世のニーズが増える様に思われる。

我がチームに新しい担い手が増えることを渴望して止まない。

【お断り】 前月号「柳生の与作たち」の文中、樹齢の稿を訂正。

樹齢は専門的には「齡級」として、「林齢」を一定の幅で括ったもの。

一般に5ヶ年をひと括りにし、林齢1～5年までをⅠ齡級。6～10年までをⅡ齡級 以下・・・と称する。

今回は、当会の主行事「月例研修会」を紹介します。



## お正月にはやっぱりおめでたい「ツル」

小田 久美子

繁殖期、オスが首を高く延し「コー」と鳴き、メスが「カッカッ」と応え、鳴き合いは長く続きます。鳴き声は甲高くツル独特で、凡人の中に一人だけ優れた人が混じっていて一言発すると皆がシーンとなる。そんなところから日本では「鶴の一声」の言葉が作られたようです。飛び跳ねたりステップを踏んだり、番の結びつきをより強めるためにバレエのように優雅に舞い続けます。私は「白鳥の湖」の舞踊はこの舞いからヒントを得たのではないかと思ったりしているのです。脚の短い白鳥では絶対このように優雅には踊れません。鶴の鳴き声は万葉人にも印象的だったようで、  
 〈妹に恋い 吾の松原見渡せば  
 潮干の渦に 鶴鳴き渡る〉(巻六)と  
 聖武天皇も詠まれています。



### 自然俳句欄

## 年暮るるやんやんやの芋煮会 秀 夫

今年は、里山林が華やいだ年だった。自然の全てに乾杯だ。  
 小春の一日、皆んな良い顔してる。来る年も更なる一年を。



## 〈癒しの散歩道〉

豊かな自然の幕明け

谷川万太郎

いつかあなたの世界がやって来ると言っていた あの頃が懐かしく思える程にそっと  
たなびく雲に透き通る薄い白いベールが 冬の冷たい朝もやの中に緩やかに消える  
見るもの聴くものそして触れるすべての 新しい出会いが時を刻む事さえ忘れるほどに  
その不思議な空間とまどろみの中で 癒された心が淡雪のようにそっと静かにたたず

む

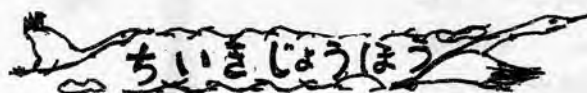
昇る日の光が扇を拡げたように空一面に綻び 小さな肩に優しく染まるように溢れ出る  
過去の川の流れの先に明るい陽射しが輝き 明日が見えると信じて夢の華を追いか  
けた

自然たちよ早く目を覚ませ辿り着く日はそう遠くない 生まれ変わる澄んだ空気と風に

吸い込まれそうな煌きの彼方にあなたは どんな新しい仲間を見つけるのだろうか  
わくわくした土の鼓動や息吹が微かに匂い 春の声を頼りに忘れかけた小鳥たちの産  
声が

その音色の響きに心地良く酔わせて欲しいから やがて草木や動物たちは衣を脱ぎ  
捨て

山や森たちもきっと新しいその姿を余すところなく私達に覗かせてくれるに違いないか  
ら



☆〈斑鳩より〉神南の民家のムクノキとエノキの巨木（去年は1羽もいませんでした）に  
イカルが12月に入ってから連日のように来ています。多いときは50羽少ない時でも15  
羽位。群れになって舞い上がったたり、降りたりする様子に見入っています。

・12月9日三室山でアトリ初見（30羽）、10日は霧が深くいないかなと思って三室山に  
上がりました。5羽いました。オレンジ色の鳥を見ていると、心が暖かくなります。

・カワウの知恵！竜田川にカワウが  
6羽が並んで何かを囲うように泳い  
でいました。よく見ると浅瀬に小  
魚を追っているのです。そして、  
パタパタしている魚を次から次へと  
口に放り込んでいます。お見事！！  
おこぼれをダイサギがいただいでい  
ました。（勝田）







＊ 原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止＊

## 『ならやま里山林プロジェクト1月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林（JR 平城山駅下車徒歩10分）  
 —「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—  
 （案内図が入用の方は、問合せ先までご連絡下さい）

|    |          |                   |
|----|----------|-------------------|
| 日時 | 1月 8日（木） | ならやま仕事始め          |
|    | 1月12日（月） | ならやま山の日・野鳥観察の日    |
|    | 1月24日（土） | 一般活動日・教育実習生受入れ    |
|    | 2月 6日（金） | ならやま山の日           |
|    | 2月 9日（月） | ならやま野鳥観察の日        |
|    | 2月12日（木） | 一般活動日・教育実習生受入れ    |
|    | 2月28日（土） | 一般活動日・教育実習生受入れ    |
|    |          | いずれも 9時集合 3時終了の予定 |

集合 現地ベースキャンプ地

交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行  
 ②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:30発 JR奈良行  
 ①、②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

携行品 弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地に用意しています）防寒対策  
＊環境保護のため、コップ・お箸・お碗は各自でご用意ください。

活動内容

- ・里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成
- 畑作業は、除草、有機栽培のための堆肥作り、土作り

景観クリエイター募集

里山にふさわしい景観を作りたいと思っています。花、樹木の植栽に関心のある方を募集します。また、花壇・山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗なども寄贈いただければ幸いです。

＊自由活動日の設定

1月～3月の間、火曜日、金曜日を「ならやま自由活動日」とします。活動される方は、担当幹事までご連絡下さい。

（問合せ先：担当幹事 古川

小嶺



## ならやまの野鳥観察

皆さんのご参加をお待ちしています!

～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

☆日程: 1月12日(月) <毎月第2月曜日>

★集合時間・場所: 8時50分 ならやま駐車場 \*9時出発 11時ごろ解散

☆観察場所: 里山林散策路内の定点及び定線観察

★持ち物: 双眼鏡・飲み物・歩きやすい服装・マイコップ(弁当・雨具は適宜)

☆小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせして下さい。中止の時は次週に順延。

★担当者: 小田 菊川

## 【奈良忍辱山森林整備作業】

場 所: 奈良市忍辱町 国有林 駐車場より徒歩10分東海自然歩道沿いの二次林。

集合場所: 国道369号線—忍辱山町自治会共有地(池の傍) 駐車場

(奈良交通バス停 忍辱山田成寺口下車 少し戻る南側)

日 時: 1月16日(金)、予27日。 2月17日(火)、予備日24日。 3月17日(火)。

(集合時間10:15より、終了予定Pm3:00ころ)

交 通: 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9:40 柳生・月ヶ瀬温泉行き  
(持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、コップ。用具は、準備しています。

—ご参加お待ちしております!—

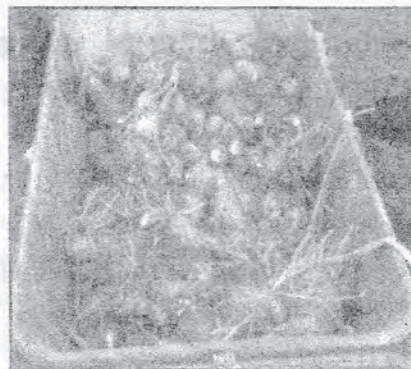
(連絡先)

12月10日 前夜の降雨状況で作業中止としました。



リースが出来たよ!

<12月6日ならやまにて>



芋煮会のおイモ みんな満腹

<12月11日ならやまにて>

(撮影 西谷 範子)



## 1月例会 **新春講演会(AM)と奈良公園の巨樹(PM)**

日 時： **平成21年1月31日(土)**



### **午前の部：講演会(オープン講座)**

場 所：奈良市中部公民館 4F 第4講座室 奈良市上三条町23-4 Tel:0742-26-6506

近鉄奈良駅より徒歩5分、JR奈良駅より徒歩10分 公共交通機関をご利用下さい。

時 間：AM10:00~12:00

講 師：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

上 南 木 昭 春 教 授

テーマ：**里山の景観形成とデザインの実践**

期待してください、逃すことのできない講演です！

### **午後の部：奈良公園の巨樹から**

集合場所：近鉄奈良駅 行基菩薩像前

時 間：PM1:00~4:00

講 師：グリーンあすなら 甲斐野 幸一氏 樋口 善雄氏

テーマ：**奈良公園の巨樹観察**

19年度 奈良市による「奈良公園巨樹調査」に協力された 両氏による解説です!!

持参物：観察用具・飲み物・防寒対策

\* 当日、雨天(降水確率60%以上)の時は[午後の部]は中止いたします。

担 当：川井 秀夫 ( ) ・阿部 和生

## <2月の予定>

### 2月例会<バスツアー>「琵琶湖周辺探鳥地及びザゼンソウ自生地」

～ガン・カモ・ハクチョウとザゼンソウを觀に琵琶湖を一周します～

<下見の時には、ヘラサギ・アカツクシガモ・オオワシを確認出来ました>

日 時：2月25日(水) 午前8時50分集合 \*午前9時出発・午後6時

帰還予定

集合場所：近鉄奈良駅北側・商工会議所前

費 用：3500円(当日集金)

持 ち 物：双眼鏡 弁当・飲み物(食堂有、持参自由) 雨具適宜

寒さ対策は万全にお願いします

申込み方法・締切日：勝田宛にeメールまたはファックスにて名前と電話番号を添え

申し込み下さい。締切：2月7日(土)。先着25名になり次第締め切ります。

申し込み先：勝田

\*原則雨天決行ですが、悪天候で通行不能になり中止の場合は当日の朝迄に連絡致します。

**多数のご参加お待ちしております。**

担当：小田久美子

・勝田均

## 「いこま棚田クラブ」の活動日 ご案内

**21/1月活動日**・・・11日(日)、12日(祝-特)、18日(日)、26(月)。

集合場所と時間：近鉄生駒駅下車、南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前 AM9時集合  
現地まで車で移動15分。弁当・飲み物持参下さい。

\* 1月の作業は、11日(大とんどの竹の切り出し)、12日特別活動  
(午前中準備 竹やぐら組み、もちつき、そば打ち、イノシシ鍋、大  
とんど16時点火)、18日・26日(草刈、石垣だし、花畑、畑の  
手入れ、竹炭焼き、里山林整備)。なお、12日はお弁当不要です。

## 奈良・人と自然の会 11月度幹事会議事録

日時：平成20年12月9日(金) 場所：中部公民館 司会：大石 記録：水本

### 【報告事項】

- ① 会員在籍：107人(2人新人加入)。
- ② 11月度例会「吉野川源流を探る」参加者：24名、源流地の森林の環境良好。
- ③ 忍辱山森林整備作業：11/13 7名参加、進捗状況は良好。
- ④ ならやま里山林プロジェクト：「レポート20/12月」を参照してください。  
4月～12月で延べ1,348名参加(イベント参加者含む)。
- ⑤ 黒髪山自然塾：11/23 リース作りに64名参加、会員の協力で好評裏に終了。
- ⑥ 11/28・29 「三井物産環境基金」援助団体交流会(東京)：川井顧問が参加。

### \*ならやま里山林P：来年の催し(案)

来年度 奈良市教育委員会(青少年指導課)の後援行事として企画する。

3月：シイタケ菌打ちと冬山で遊ぼう・・・3月7日(土)

5月：ジャガイモ・サツマイモ植え付け 7月：山の日、夏の虫観察

10月：芋、ピーナツ堀

12月：冬のリースづくり。

火・金曜日は「ならやま自由活動日」とする。

### 【確認事項】 12～3月スケジュール

例会：1/31(土)新春講演会 「里山の景観形成とデザインの実践」上甬木教授

2/25(水)湖北探鳥会

3/25(水)壺坂・高取城跡を巡る

忍辱山整備：1/16 予/27・2/17 予/24・3/17 予/24

ならやまプロジェクト：12/20・1/8、24(実)・2/12、28(実)・3/7、20

ならやま山の日：1/12・2/6・3/31 野鳥の日：1/12・2/9・3/9

### 【検討事項】

家族会員の年会費は入会時期を問わず通年¥1,000とし、会則の改定を提案。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生





奈良・人と自然の会

## 新春講演会 ご案内

2009年の輝かしい初春、恒例の新春講演会は昨年度よりスタートした「ならやまプロジェクト」を展開する歴史的風土特別保存地区の里山景観保持のために、大阪府立大学大学院 上甫木 昭春先生をお迎えして特別講演会を開催いたします。

多数のご参加を頂きますようお願い致しております。

記

日時：平成21年 1月31日（土）午前10時より正午迄

奈良市上三条町23-4 TEL：0742-26-6506

会場：奈良市中部公民館 4階 第4講座室

テーマ：『里山の景観形成とデザインの実践』

講師：大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科  
教授 上甫木 昭春 先生

☆

講演会終了後、午後1時より4時迄 奈良公園の巨樹観察会を実施いたします。

講師：グリーンあすなら 甲斐野 幸一氏、樋口 善雄氏

\* 観察会のみにご参加の方は午後1時に近鉄奈良駅前行基菩薩像前に集合。

持参物：観察用具 飲料 防寒対策

\* 当日、雨天（降水確率60%以上）の時は中止いたします。



担当 川井 秀夫

阿部和生